

BCP 訓練

気付いたことを実行

大成ロテック

大成ロテックは、冬季休日の午前6時に都心南部で地震が発生した想定で、全国の拠点でBCP（事業継続計画）訓練を実施した。写真。同社の社員に加えて、グループ会社サルトント、泰明工業、京丹建設の社員らも合わせ166人が参加した。

訓練では、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、新たに災害対策本部と各支社災



害対策本部に代替拠点の立上げを必須とし、対策部員を分散した上で指揮を執ったほか、従来のテレビ会議システムに加えてビデオ会議ツールを使うことで、テレビ会議システム設備のない拠点到動画中情報伝達するとともに、チャット機能で参加者間の文字による重要情報共有訓練をした。また、主要要員が災害対策本部に参集できない事態に備え、自宅最寄り拠点到参集し、遠隔指揮を執る訓練も実施し、実効性を確認した。

加えて、従来から実施している本社に通信障害が発生した想定での代替拠点からの初動体制確立訓練、グループ会社とのテレビ会議システムを使った連携訓練、被災拠点や災害協定得意先からの支援要請対応訓練などにも取り組んだ。

訓練後の講評で西田義則社長は、自然災害が発生した際に対応するための日ごろの訓練の重要性を強調し、「訓練で気付いたことをそれだけで終わらせず、実行に移してほしい」と訴えた。